資料２－５
関東地方整備局
事業評価監視委員会
（平成19年度第4回）

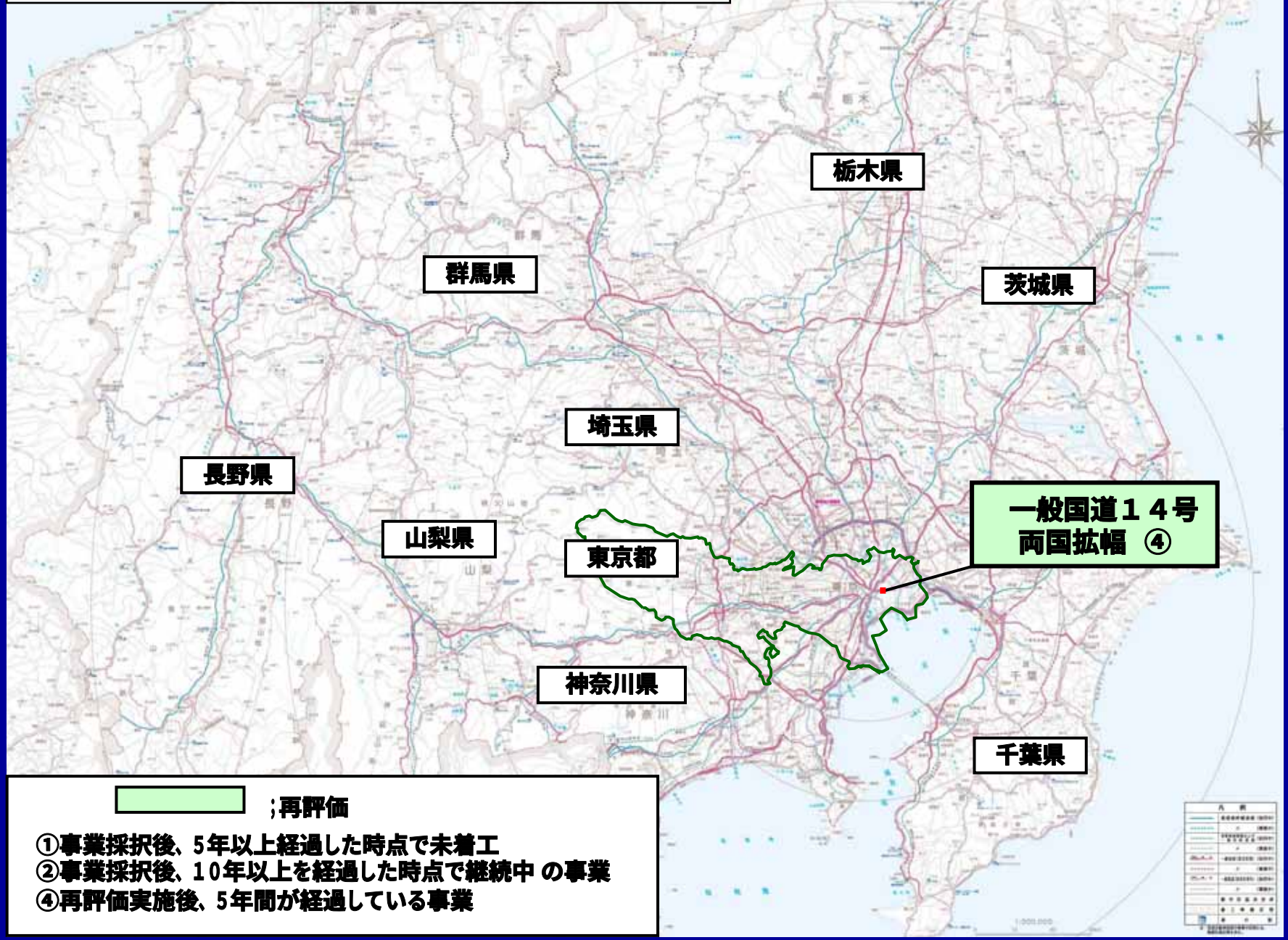
一般国道１４号　両国拡幅

（　再　評　価　）

平成２０年1月２３日

関東地方整備局

事業評価監視委員会　道路事業　位置図



;再評価

①事業採択後、5年以上経過した時点で未着工
②事業採択後、10年以上を経過した時点で継続中 の事業
④再評価実施後、5年間が経過している事業

1．事業の目的と計画の概要

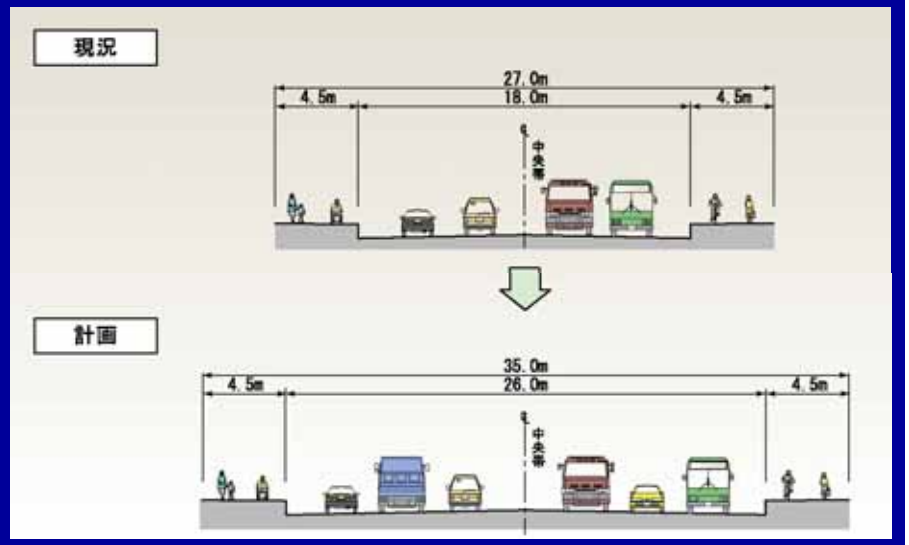
(1) 目的

・交通混雑の緩和
・交通安全の確保
・大規模地震時の緊急輸送道路の確保

(2) 計画の概要

■区　間　　自：東京都中央区東日本橋二丁目（とうきょうとちゅうおうくひがしにほんばし）
　　至：東京都墨田区緑四丁目（とうきょうとすみだくみどり）
■車線数　　６車線
■事業化　　平成10年度

標準横断図



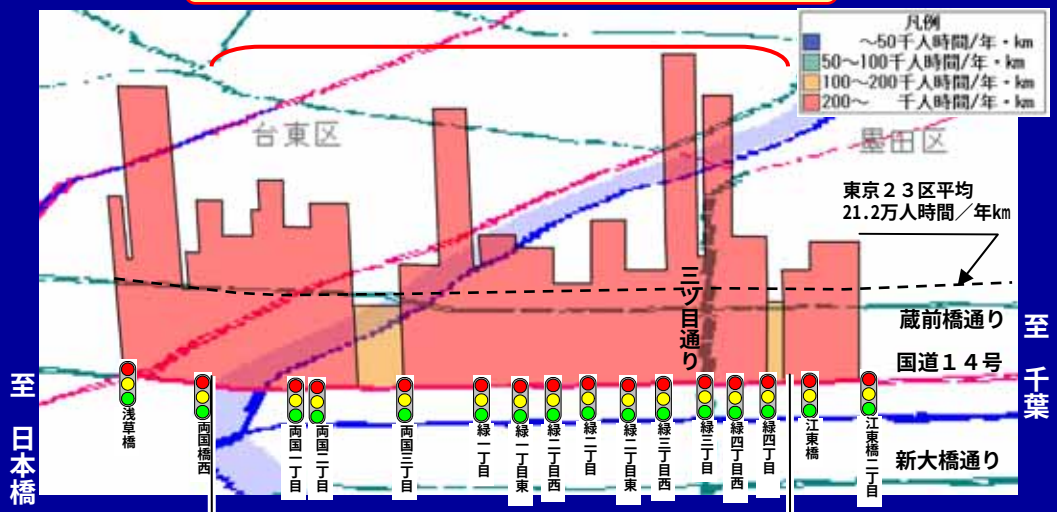
位置図

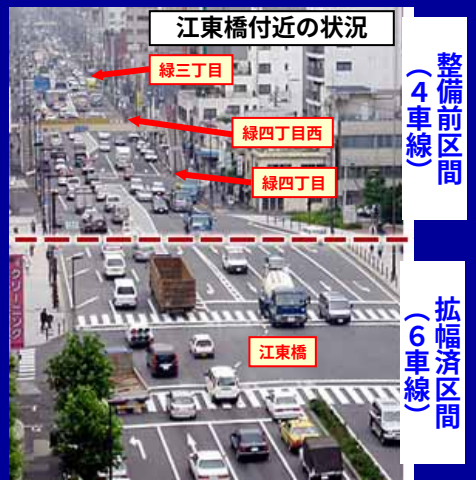
2．事業の必要性に関する視点

・両国拡幅区間では、現在、渋滞により渋滞損失額：約20億円／年の損失が発生。

渋滞損失時間の現状

渋滞損失額：約２０億円/年





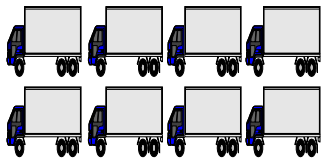
2．事業の必要性に関する視点

- CO２の年間排出量は約3,400t-CO2削減され、森林吸収面積で日比谷公園の約21倍に相当。
- NOXの年間排出量は約14.7t削減され、東京都を走行する大型車に換算すると約4.8万台に相当。
- SPMの年間排出量は約1.3t削減され、ペットボトル約12,500本分に相当。

約21倍

CO_2・・・年間約3,400t-CO_2(0.3%)削減
（森林約335haの二酸化炭素吸収量に相当）
（日比谷公園（約16ha）の面積の約21倍に相当）

約4.8万台



NO_x・・・年間約14.7t(0.3%)削減
（東京都を走行する大型車に換算すると約48,000台に相当）
※大型車１台が東京都における平均走行距離を走行した場合のNO_x排出量
※大型車の速度を40km/h、平均走行距離を70km/台として換算

約12,500本

SPM・・・SPMを年間約1.3t(0.3%)削減
（500mlペットボトル約12,500本分に相当）
※ペットボトル１本（500ml）に入るSPMを約100gとして計算

3．費用対効果

□便益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年における現在価値(B)	292億円	15億円	1億円	308億円

□費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年における現在価値(C)	177億円	7億円	184億円

□算定結果

B/C	308億円(総便益) / 184億円(総費用)	1．7

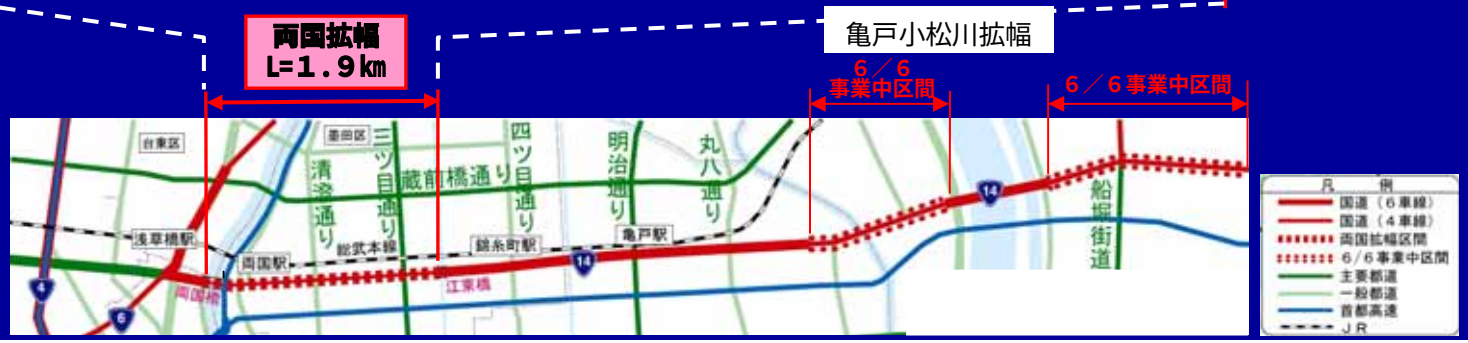
注）1．費用及び便益額は整数止めとする。
　　2．費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

4．事業進捗の見込みの視点

■一般国道１４号両国拡幅の経緯

昭和21年3月　　都市計画決定
平成10年度　　事業化
（本区間の近隣の亀戸小松川拡幅は市街地再開発事業と一体的な事業であり、その整備効果を早期に発現させるため、同事業を優先して推進）
平成19年5月　　事業計画説明会（計６回）

用地買収は未着手



4．事業進捗の見込みの視点

		平成10年度事業化									事業計画説明会	設計用地説明会（予定）関係機関協議及び
	年 度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20以降
両国拡幅事業※	調査測量設計											
	用 地										0%	
(参考) 亀戸小松川拡幅事業												H23年度完成予定

※緑1丁目交差点区間から先行していく予定

5．今後の対応方針（原案）

(1) 事業の必要性等に関する視点

- 当該事業区間は、一般国道１４号東京都内区間の中で最後に残った都市計画（６車線）の未整備区間であり、主に朝と夕方を中心に渋滞が発生し、事故率も東京都区部の一般国道の平均値に比べて高い状況にある。
- 東京都の緊急輸送道路として指定されているため、大規模地震時において避難・救助をはじめ、物資の供給、諸施設の復旧等広範囲な応急対策活動を担う路線である。
- 費用対効果（B／C）は、１．７である。

(2) 事業進捗の見込みの視点

- 平成１９年５月に事業計画説明会を計６回開催し、１２月までに関係地権者の協力のもと、全線の路線測量を完了。
- 拡幅事業完成までの暫定的な交通混雑への対策として、バスベイの設置（計８箇所）のため、協力が得られた関係地権者に対して、平成１９年度の用地買収着手に向けて、先行的に用地測量調査を実施中。

(3) 対応方針（原案）

- **当事業は継続が妥当。**
- 路線測量完了（平成１９年１２月）後、道路設計を進めており、平成２０年度以降に関係機関協議及び設計用地説明会を実施し、早期に用地買収に着手する。